

総務委員会会議録（要点筆記）

平成30年9月18日（火）

午前 9時30分 開会

○鈴木好美委員長

ただいまから総務委員会を始めます。

協議題に入る前に昨日3回目の常滑市・半田市医療提供体制等協議会がございました、事務局がいますので少し時間をとって説明と質疑等を行っていきたいと思いますのでよろしくをお願いします。

○大嶽病院管理課長

【資料に沿って説明】

○鈴木好美委員長

説明は終わりました。委員の中からご質疑があればお願いしたいと思います。

○中川健一委員

昨日、傍聴をしていて一つ気になったのは、副市長が冒頭のあいさつで、この会の名前を常滑・半田協議会のはずなのに半田の名前を先に言うてしまうのです。前回の会議もそうだったので、なんで毎回間違えるのかと思っています。要望です、そういう問題があった、指摘があったときちゃんと伝えておいてください。受け止めた側の問題があるので、そういう問題があるから、副市長を要は馬鹿にしたような発言が公的な場でなされるのではないかと僕は思うのでそういう指摘をさせていただきました。

○竹内病院事務局長

馬鹿にしたような発言というのは、具体的にはどのような発言でしょうか。

○中川健一委員

先ほどほとんどの質問は副市長さんでしたというふうに言っていましたが、今回は多くの質問が出ていたと僕は思います。

○大嶽病院管理課長

今回第3回で用意したデータ、資料等については第2回の議事録を見た限りでは、全てが山田副市長さんから、次のときにはこういった資料が欲しい、こういった状況はどうなんだ、もう少し細かいデータが欲しいというようなことから引っ張り出して、第3回の会議に間に合わせたということでしたので、ほとんどの資料については山田副市長さんがおっしゃったデータについて用意をしたというような意図で冒頭説明した次第であります。

○澤田勝副委員長

昨日が第3回の協議会が終わって、概ね10月の第4回の協議会で概ね方向を出すということでスタートしたと思うのですが、いまの見通しというのはどういう状況なのか、昨日の協議会を聞いていると具体的に答申案まで出すというふうに言ってみえたのですが、水面下でいろいろやってみえると思うのですが見通しはどうかということのひとつと、もうひとつ統合、半田病院と常滑市民病院が統合しようがしまいがこれは議決案件ではないと思うのですが、今後議会との関わり補正を出さなければいけないものなのか、議会との関わりがどうなってくるのかというのがわかる範囲内で教えてもらえませんか。

○竹内病院事務局長

第3回までのところで協議会としては概ね統合ということは、特に昨日第3回については医療面についてはいろいろこと細かに資料提供して大筋問題はないというのか合意されているという印象を持たれたと思うのですけれども、先ほどの一番最後のところでご説明しましたけれども、経営面、一緒になったときにどうなるのか、単独でやったらどうなのか一緒になったらどうなのかというところの検証がまだ済んでいないものですから、そのところの数字を今早急に詰めているところで、そういったところが少し水面下で両市がすり合わせながら話をしている、第4回目のところで医療面でもいいけど経営面の方でもよければそれで協議会として統合すべしという結論を出していかたいというふうに思っています。それから議会との関係ということになりますけれども、最終的に例えば統合だとか、独立行政法人化ということになるとそのときの法人化するにあたっての議決というのは必要になってくるかと思っておりますけれども、さしあたって議会に対して何か議決していただけるような案件が正直言ってないというのが今の時点での現状かと思っております。例えば市長が答申だとか協議会からの報告を受けて決断をされて議会に報告をさせていただくというのが当面の流れなのかというふうには思います。

○澤田勝副委員長

最初の見通しの部分ですけど、山田副市長のお話を聞いていますと市民への理解、説明ですとか議会への説明等々も大分気にしてみえて、そのタイミングをみると10月の第4回の協議会までに説明が多分できないのではないかと思いますのですけど、今協議会としては結論を出したいというふう、だけど山田副市長の話を伺うとまだ市民の理解を得ていないというところの平行線が見えるのですけど、そうすると10月に結論が出るのかという心配がひとつあるのです。まあそれは進んでいかないとわからないと思うのでいいのですけれど。あと議会の関わりについてですけど、12月議会に補正も何も出てくるわけではないので、多分法人化されたとすれば中期計画で議案書に出てくるだけだと思うのですけど、非常にこの経過もこれで心配もありますので、全協だけとは言わずできるだけこの総務委員会に対しては経過を報告していただきたいと思うのですけどよろしいでしょうか。

○竹内病院事務局長

まず、決定のプロセスというのか、協議会で昨日も少し山田副市長が確認されたと思うのですが、協議会の決定と市の意思決定というのは別だということを確認されていたと思うのですけど、協議会としては10月までに決めるというのは譲れないところです。それで速やかに両市がそれぞれの意思決定をしていただきたいというのが今のところの状況です。それから、その後の議会への報告というところですけども、いろいろ状況が変化、いろいろなことがあった度にご報告はさせていただきたいというふうに思っています。

○嶋崎昌弘委員

ひとつだけ確認したいのですが、4回が終わって協議会から答申が出る、これは確実にいいのですか。これを確実にしてあとは市がどっちなか決めるという話なのですけど、4回で答申を出すということは、4回の会議が終わって、それからそれをまとめて答申書を、ある程度4回のおきに作っておかないともう一回やらなければならないことがあるので、その辺のところはきちんと10月21日で終わって、最悪この最後の1時間30分ぐらいで答申書を出すというイメージで進めていかないといけないと思うのですけど、その

辺のところ確認だけお願いします。

○竹内病院事務局長

同時進行で答申書というか報告書を作りながらやっていきたいと、それも昨日協議会が終わった後にすぐ作業部会を両病院間でやったのですが、これをどうやっていくかというのがちょっと話題にもなりまして、第4回のところで報告書がその場で承認いただけるようなかたちで、調整を進めていきたいと思っています。そのようにします。

○榊原伸行委員

昨日の協議会の中で万が一、経営統合、常滑市と半田市がだめになってしまう場合、可能性も秘めているわけなので、そういった場合は新半田病院の基本構想なども遅れてしまうから開院も遅れますよという発言があったと思うのですが、確認をお願いします。

○竹内病院事務局長

昨日の発言はこれ以上ずるずる統合するかしないかの結論を先延ばしされると開院が遅れてしまうということの説明でした。ですから例えば10月までに経営統合できないという結論が出れば、我々は今までの作ってきた構想をもとにそのままのスケジュールで単独でつくっていきます。結論が出ない場合については決裂と同じような状況というか、結論が出せないのだったらやはり半田は半田で単独でつくっていきますということになります。37年5月に開院するというのは我々の譲れない条件だというふうに思っています。

○榊原伸行委員

常滑市民の方、半田市民の方も多くの方が中日新聞の知多版を80%ぐらいは読んでおみえになると思うのですが、あの中で2回目の新聞記事を見るとかなり常滑市と半田市の温度差があるのではないかとというふうに見て取れたのですが、その辺の見解はどのように思いますか。

○竹内病院事務局長

少し記事も半田と常滑が対立しているかのようなバイアスのかかった記事ではないかというふうに私自身は読みました。少なくとも病院間で話している間ではやはり経営統合は絶対不可欠、これから先のことを考えていくとやはり避けられないというふうな認識をお互い持っておりますので、一般の市民の方がどのように思っているかまではこと細かくお話を伺っているわけではないですが、やはり将来のためには両市が協力していくことが必要かと思っています。

○鈴木好美委員長

他にご質疑ないようですので、常滑市・半田市医療提供体制等協議会についての協議は終了します。それでは、協議題に入ります。閉会中の調査事項についてを議題とします。それでは閉会中の報告に関してですが、今日大体みんな確認し合っている程度のもので作っていききたいと思います。では休憩で皆さんの意見を反映していきたいと思っておりますのでご自由に意見をよろしくお願ひしたいと思ひます。

午前 9時56分 休憩

午前10時50分 再開

○鈴木好美委員長

委員会を再開します。今後、明日の19日総括が終わってから閉会中のテーマについての報告についてを議題として修正を行いたいと思ひます。9月25日説明会の後、1時間

ぐらい時間をいただいて11時ぐらいから行いたいと思いますのでよろしくお願いします。
以上で総務委員会を閉会いたします。

午前10時51分 閉会